

昭和五十二年十二月十九日の午後十時七分、釧路自然保護協会幹事長・田中瑞穂先生が、享年六十一歳の若さで結腸癌のため他界されました。思い起こせば、田中先生と私のお付き合いは、先生が昭和二十六年、北海道学芸大学釧路分校に奉職されていらい三十年にならんとする永いものでした。

大学で生物学を教えられていた先生はご専門の植物学の立場から釧路地方の植物生態学的研究を生涯のテーマとされ、数々の輝かしい業績をあげられました。ことに、野地坊主の研究において、世界的にも高い評価を受けられているところ

です。また、釧路湿原の名づけ親であり、今日、同湿原が日本のみならず世界にも知られるにいたったのは、先生の永年にわたるご研究の賜ものであります。

先生にお近づきをお願いした私どもは

田中瑞穂先生を悼む

上 田 五 郎

先生の飾らぬ人柄に常に深い感銘を受けてきました。先生は研究者として偉大であるとともに、大学を学究の場というこ

とにとどめず広く市民に開放されようとしたご努力は、釧路地方の文化向上に計

り知れない大きな功績となりました。

大学での要職のご多忙にもかかわらず地域の博物館、科学館の審議会委員として、また、各種の自然観察会や探鳥会の講師として、社会教育活動に快よく、し

としてのご逝去を悼むいま、先生がこの文化賞を授賞されたことは私ども釧路市民にとつて大きな慰めとなりました。

いま、田中先生を語るべき、自然保護運動に果たされた誠に大きなご功績を忘れることができません。昭和四十六年に北海道自然保護協会釧路支部が結成され五十年には釧路自然保護協会ができ、年長者ということから私が支部長、会長を命じられ、どうやらこれまでその任を務めることができたことは、ひとえに田中先生が幹事長として会活動の全面にわたつてご指導下されたおかげです。

(釧路自然保護協会々長)